

平成 28 年 3 月 31 日

神戸薬科大学

指定校制推薦入学試験の選抜方法の変更について

神戸薬科大学では、次のとおり、平成 30 年度入試から、指定校制推薦入学試験の選抜方法を変更する。

1 変更内容

選抜方法

(平成 29 年度)

- ・調査書及び入学志望理由書に基づいて面接を行い、総合的に判断します。

(平成 30 年度以降)

- ・調査書及び入学志望理由書に基づいて面接又は、グループディスカッション(受験生選択制)を行い、総合的に判断します。

2 理由

薬剤師の業務は、これまでの調剤中心から、医薬品が適切に使用されているかの確認、助言や健康サポートなどが中心となります。即ち、患者さんとの対話により、その病状の現状把握とともに薬の使用などの要望を理解し、疾病の治療に活用することが大切になってきています。この場合求められるものはコミュニケーション力と言われます。これは、自分の意見を主張するばかりでなく、他人の意見をよく聞き、理解しながら議論を進めることができる能力です。

コミュニケーション力は、将来薬剤師となるためだけでなく、製薬会社を含め薬学に関連するあらゆる分野において不可欠のもので、その潜在能力や資質の適応性を見極めるためグループディスカッションを導入することにします。

3 今後の予定

- ① 平成 29 年 5 月末まで 募集要項
- ② 平成 29 年 11 月 指定校推薦入学試験で実施